

TLS1.2 接続設定手順書

I 処理概要

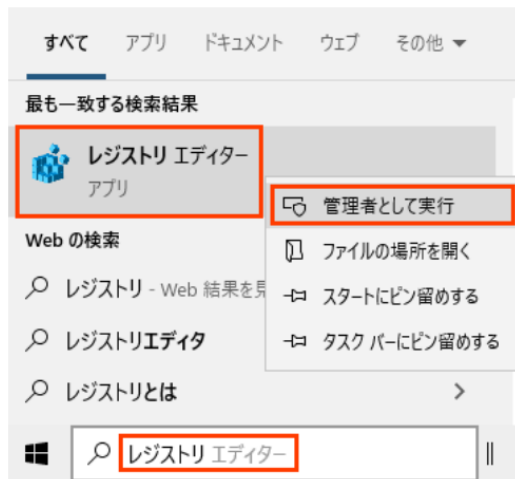
1. レジストリのバックアップ
2. レジストリの確認と登録
3. レジストリバックアップの削除

II 処理詳細

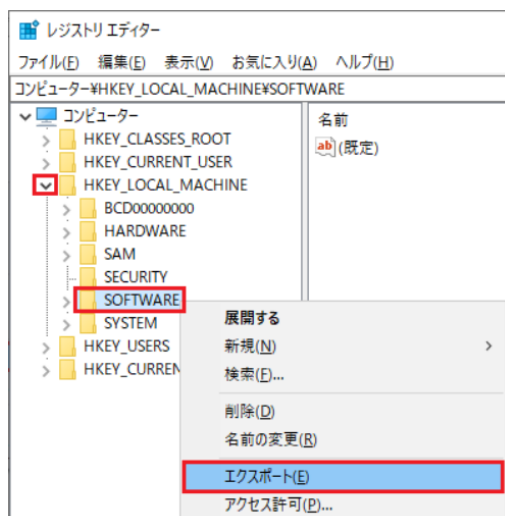
1. レジストリのバックアップ

レジストリ変更後に、不具合が発生した場合に備え、レジストリのバックアップを取得します。

- (1) スタートボタン横の検索窓に「レジストリ」と入力し、表示される検索結果から「レジストリ エディター」を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。
ユーザーアカウント制御の画面が表示される場合は、[はい]ボタンで進みます。また、管理者権限のあるユーザーIDやパスワードの入力を求められた場合は、入力します。

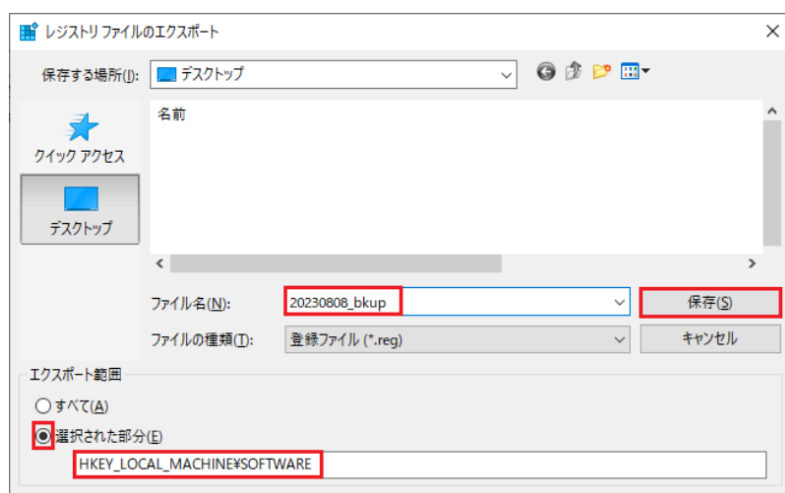


- (2) レジストリエディターの左ペインの[HKEY_LOCAL_MACHINE]の「>」マークをクリックし、展開されるサブキーから[SOFTWARE]をクリックします。
- (3) [SOFTWARE]を右クリックし、[エクスポート]をクリックします。

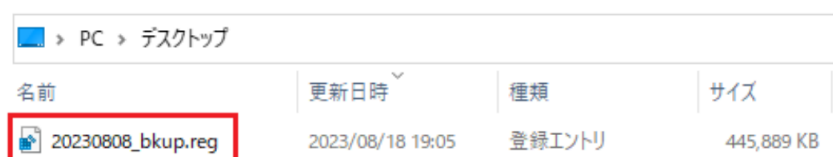


- (4) [エクスポート範囲]欄は、「選択された部分」にチェックが付き、「HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE」が表示されていることを確認し、適当なファイル名(任意)を入力して[保存]ボタンをクリックします。

なお、保存する場所はデスクトップなど任意の場所で構いません。
また、ファイル名は、「バックアップした日_bkup」など、確認しやすいファイル名としてください。
(例) 20230808_bkup



- (5) バックアップには少し時間がかかるため、マウスカーソルがぐるぐると回った状態になります。
しばらくお待ちになり、通常のマウスカーソル(矢印)に戻ればバックアップ終了です。
- (6) 保存指定した場所に、バックアップファイル(上記例の場合は「20230808_bkup.reg」)が作成されていることを確認してください。バックアップファイルは、ご利用環境により数百MBのファイルサイズとなります。



【ご注意】 バックアップファイル(拡張子 reg ファイル)の取扱い

バックアップファイル(reg ファイル)は、ダブルクリックなどで実行しないでください。

実行するとレジストリが書き換えられてしまいます。当手順書での処理完了後、バックアップファイルを削除するまでの間は、ファイルを触らないようご注意ください。

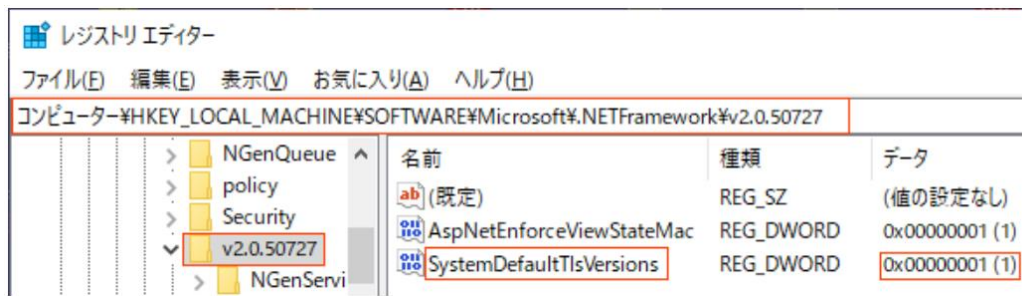
2. レジストリの確認と登録

- (1) レジストリエディターでレジストリのキーに必要な値が2つ登録されていることを確認します。
レジストリエディターの赤枠の欄(以下の画像参照)に、それぞれのキーの値をコピーして貼り付け、Enter キーを押下します。



該当のキーに移動するので、対象の項目名の値が登録されていることを確認します。

- ① キー : HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\NETFramework\v2.0.50727
項目名(名前) : SystemDefaultTlsVersions
型(種類) : REG_DWORD
値(データ) : 1



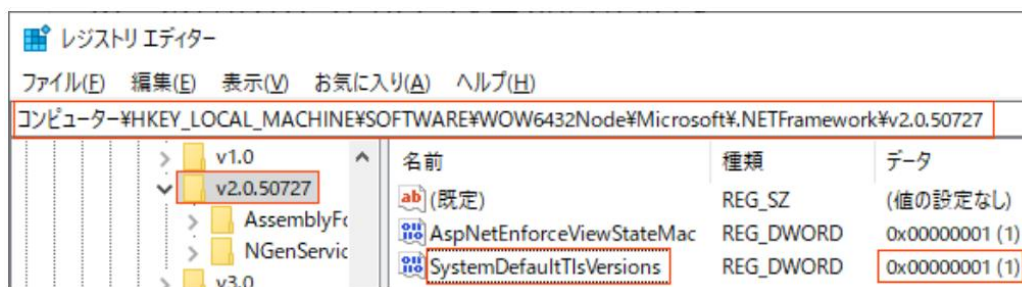
②キー：HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\WOW6432Node\Microsoft\NETFramework\v2.0.50727

(※32 ビット OS ご利用の場合、当キーの確認は不要です。)

項目名(名前)：SystemDefaultTlsVersions

型(種類)：REG_DWORD

値(データ)：1



(2) レジストリのキーが登録されていない場合、以下の手順で登録します。

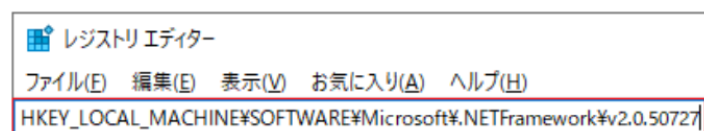
①キー：HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\NETFramework\v2.0.50727

項目名(名前)：SystemDefaultTlsVersions

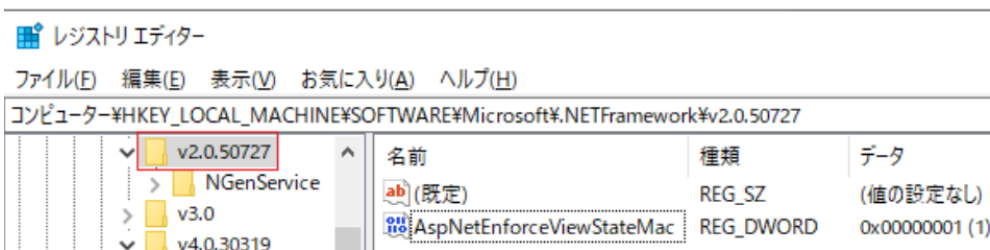
型(種類)：REG_DWORD

値(データ)：1

1) 上記のキー「HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\NETFramework\v2.0.50727」を以下赤枠に貼り付けて、Enter キーを押下します。「v2.0.50727」が選択された状態になります。

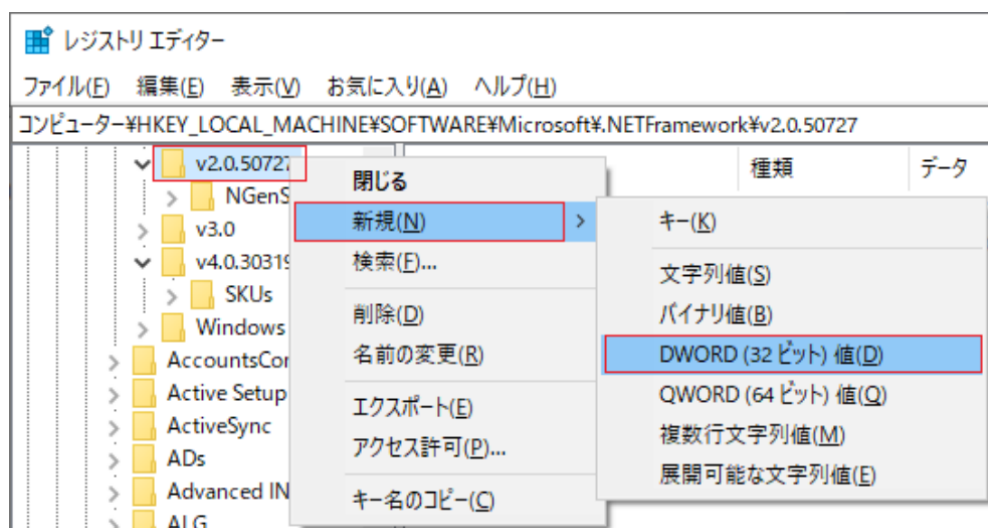


※ キーの文字列を貼り付けて、Enterキーを押下します。

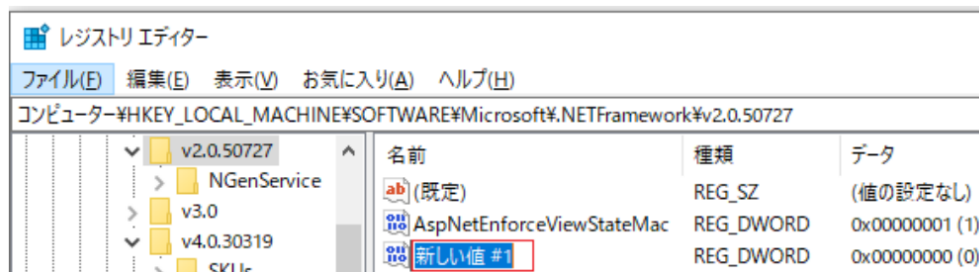


※ 「v2.0.50727」に移動し、当キーが選択された(開かれた)状態になります。

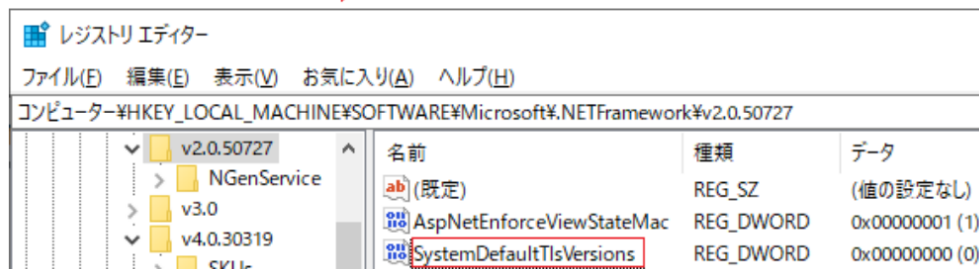
2) 「v2.0.50727」を右クリックし、[新規]>[DWORD (32 ビット)値]を選択します。



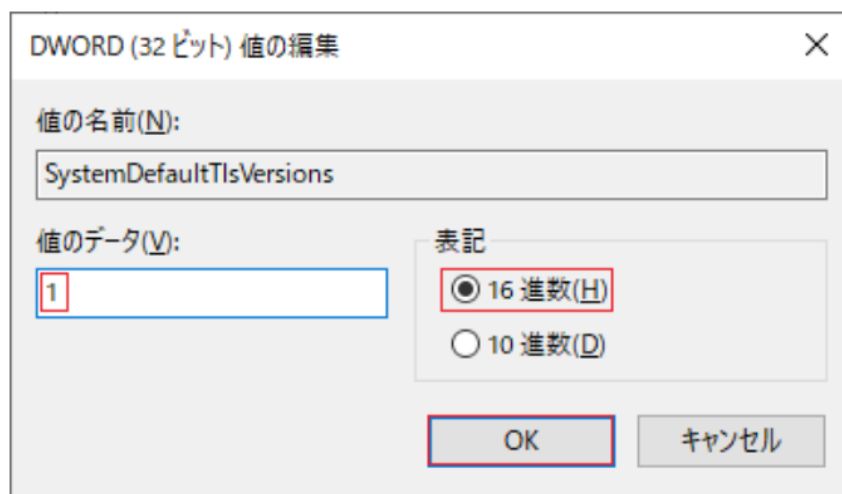
3) 上記の項目の「SystemDefaultTlsVersions」を貼り付けて名前を変更します。



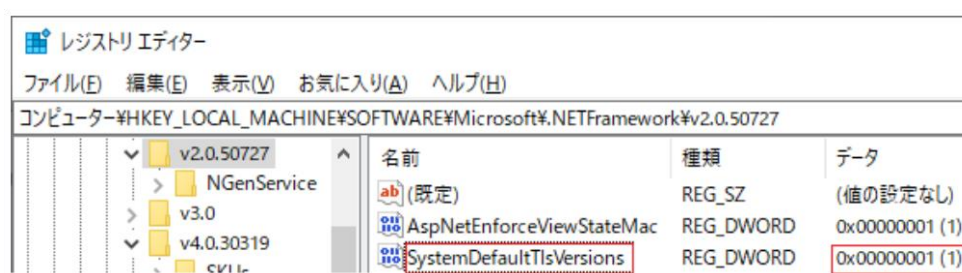
※ 例として「SystemDefaultTlsVersions」を貼り付けて名前を変更します。



4) 「SystemDefaultTlsVersions」をダブルクリックして以下の画面を表示し、[値のデータ]欄を「1」に変更し、[表記]欄が「16 進数」にチェックが付いていることを確認して、[OK]ボタンをクリックします。



5)以下の通り、「v2.0.50727」の値名「SystemDefaultTlsVersions」のデータが「0x00000001(1)」と表示されていることを確認してください。



②キー：HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\WOW6432Node\Microsoft\NETFramework\v2.0.50727
(※32ビットOSご利用の場合、当キーの登録は不要です。)

項目名(名前)：SystemDefaultTlsVersions

型(種類)：REG_DWORD

値(データ)：1

上記の1)から5)の処理で、

キー「HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\WOW6432Node\Microsoft\NETFramework\v2.0.50727」の値を登録します。

3. レジストリバックアップの削除

レジストリの登録完了後、システムを起動しエラーが解消されたことを確認します。

エラー解消後、「1. レジストリのバックアップ」で作成したバックアップファイル(拡張子が「.reg」のファイル)を削除してください。

以上で、作業は終了です。